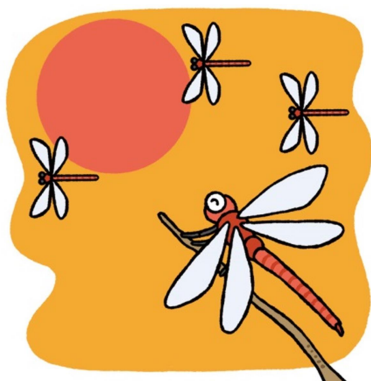




「天高く、馬肥ゆる秋」という言葉があるように、秋の空は高く感じるそうです。

その理由は空に含まれている水蒸気やチリが少なく、雲が高い位置に浮

かぶからです。一方で水蒸気が少ない空気が乾燥するので、風邪をひきや

すくなる時期でもあります。空を見上げて秋を感じたら、こまめに水分補給を

したり、マスクをしたり、風邪対策をお願いします、

9月1日 防災の日



重要!

AEDの 使い方



臓が止まった人に何もしなかった場合と比べて、
胸骨圧迫（心臓マッサージ）をした場合、命を
助けられる確率が2倍近く高くなります。さらにAED
を使用した場合は、約半数の人を救えるという調査結
果が出ています。AEDの使い方を知っておきましょう。

① 電源を入れる

（ふたを開けただけで
電源が入るものもあります）

② 電極パッドを胸に貼る

③ 心電図の解析を待つ

（電極パッドを貼ると自動的に始まります）

④ 電気ショック

- 電気ショックの指示が出たら近くに人がいないことを確認し
電気ショックのボタンを押す（自動で行うAEDもあります）。
ショック後すぐに胸骨圧迫を再開する
- 電気ショックが不要の場合、胸骨圧迫を再開する

⑤ 胸骨圧迫とAEDをくり返す

（2分ごとに電気ショックが必要かどうか自動で解析します）



ニンバス（NB.1.8.1）はオミクロン変異株の子孫であり、特に 2024 年冬に感染拡大で優勢となった JN.1 系統から派生した組み換えウイルスです。

ニンバス（NB.1.8.1 株）の主な特徴は？

ニンバスの主な特徴は「**ヒトの細胞への結合力（侵入の上手さ）**」と「**免疫からの回避能力（回避の上手さ）**」にあります。ウイルスが私たちの体に感染する時、細胞の表面にある「ACE2 受容体」という部分を入り口として使います。ニンバスは、この入り口に結合する力が非常に高いことが分かっています。つまり、それだけ効率よく細胞に侵入できるわけですね。

東京医科学研究所の報告によると、オミクロン LP.8.1 株より高い感染性を示しますが、オミクロン XEC 株よりは感染性が低いことが分かっています。

しかし、ニンバスは、過去の感染やワクチン接種によって私たちが獲得した免疫という「警備システム」を、巧みにすり抜ける能力（免疫逃避）にも長けています。

当時流行していた他の主要な変異株と比較して、ニンバスは抗体の有効性を 1.5 倍から 1.6 倍低下させたことが示されました。つまり、既存の免疫を持っても、ウイルスを中和する抗体の効果が 30%~40%程度弱まる可能性を意味します。このように、ニンバスはヒトの細胞に侵入する能力をもちながら、これまでの免疫もすり抜ける、バランスの取れた株といえるでしょう。

幸いなことに、これまでの報告では「**ニンバスにより強い重症化率と致死率をもっている**」ことを示唆するデータはありません。WHO でも「NB.1.8.1 が疾患重症度の増加とは関連しない」と明確に述べられています。

（参照：[Virological characteristics of the SARS-CoV-2 NB.1.8.1 variant](#)）

（参照：東京大学医科学研究所「SARS-CoV-2 オミクロン NB.1.8.1 株の ウイルス学的特性の解明」）